

津波に対する正しい知識を！

●津波情報は3段階

津波に対する正しい知識や意識を身に付けましょう。

また、津波発生に関する情報が発表された場合は、すぐに高台などの安全な場所へ避難することが重要です。

地震等の発生によって津波発生の可能性がある場合には、気象庁より津波に関する情報が3つの段階で発表されます。

3つの段階と発表基準		予想される被害状況
危険 ↓ 危険大	「津波注意報」 予想される波の高さが（高い所で）20cm以上1m以下で、災害の恐れがある場合	海の中では、早い波に人が巻き込まれるほか、小型船舶が転覆する恐れがある。
	「津波警報」 予想される波の高さが（高い所で）1m以上3m以下の場合	標高が低い所では、浸水被害が発生するほか、津波による流れに人が巻き込まれる。
	「大津波警報」 予想される波の高さが（高い所で）3mを超える場合	木造家屋が全壊・流失するほか、津波による流れに人が巻き込まれる。

【避難する際の注意点】

◎徒歩で避難しましょう

- ・自動車での避難は、交通渋滞などによって逃げ遅れる恐れがあります。可能な限り徒歩で避難しましょう。

◎木造の建物を避難場所にしない

- ・木造家屋は、津波による浸水が2m程度に達すると、倒壊する恐れがあります。浸水が1m程度であっても倒壊する危険があるため、直ちに高台へ避難しましょう。

◎高台への避難が間に合わない場合には「津波避難ビル」へ避難しましょう

- ・市では、市内14カ所の津波避難ビルを指定しています。高台まで距離がある場合または津波の認知が遅れた場合は、速やかに近くの津波避難ビルへ避難しましょう。津波避難ビルの一覧については、「留萌市防災ガイド・マップ（11ページ）」をご覧ください。
※平成31年3月から、新たに「塩見市営住宅」を津波避難ビルに指定しました。

「留萌市防災ガイド・マップ」では、日本海沖で起きた地震によって発生する津波による最大浸水想定区域を記したハザードマップを掲載しています。「留萌市防災ガイド・マップ」で各浸水区域をご覧いただき、事前に避難する場所・避難経路について確認しておきましょう。



▲留萌市防災ガイド・マップ

問 市・総務課 ☎ 56-5005